

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 和歌山県

### ●地域における現状・課題

#### 【現状】

- 令和5年度県内1町（2校4部）が実証事業を実施

#### 【課題】

- 地域の実情に応じた地域クラブ活動の整備
- 方針の周知・理解の促進
- 全市町村における協議の充実に向けた指導助言
- 指導者の発掘及び指導者の質の確保
- 県立中学校におけるニーズ調査・検証の支援

### ●取組の成果、特に工夫した点等

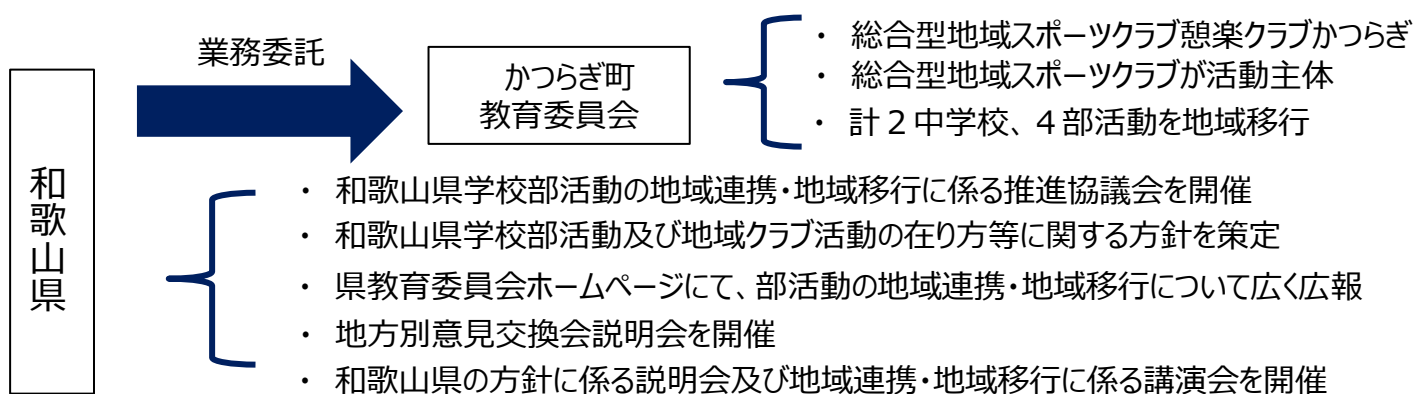
#### 【取組の成果】

- 地方別意見交換会では、県の方針の骨子案を伝えるとともに、各市町村の状況について意見交換することができた。  
市町村担当者感想・・・難しい課題であるが、少しずつでも前に進めないといけない。まずは、地域、保護者、生徒、教員のニーズをつかみたいと感じた。
- 令和5年11月段階の調査では、県内30市町村の内、20市町村が、協議会の設置を予定している。

#### 【特に工夫した点】

- 県の状況にあった方針を策定するために、（県）推進協議会において、県内の地域移行の実施の際に課題となる点を共有し協議を進めた。
- 県担当者と、市町村担当者の繋がりを醸成するために、10月に県内を8つの地方に分け、複数の市町村が一堂に会して協議する地方別意見交換会を行った。
- 推進協議会や意見交換会の協議概要、説明会、事例発表及び講演会の感想や質疑応答について公開し、広く情報発信するために、和歌山県教育委員会HPを活用した。

### ●運営体制図



# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 和歌山県かつらぎ町

### ●地域における現状・課題

- 近年の急速な少子化の進展により、学校ごとのチーム編成が困難になったり、部活動の競技数の減少
- 競技経験の少ない教師が指導したり、休日の活動や勤務時間を超過した指導等、教職員の働き方改革の視点からも体制の見直しが必要
- 地域のスポーツ団体や保護者の方々と学校との連携・協働の必要性

### ●取組事項の概要

運営主体：かつらぎ町教育委員会/総合型地域スポーツクラブ憩楽クラブかつらぎ  
和歌山県バレーボール協会伊都支部

活動場所：かつらぎ町立笠田中学校、かつらぎ町立妙寺中学校、平和公園G

指導者：地域の指導者、兼職兼業の教員

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、保護者による送迎

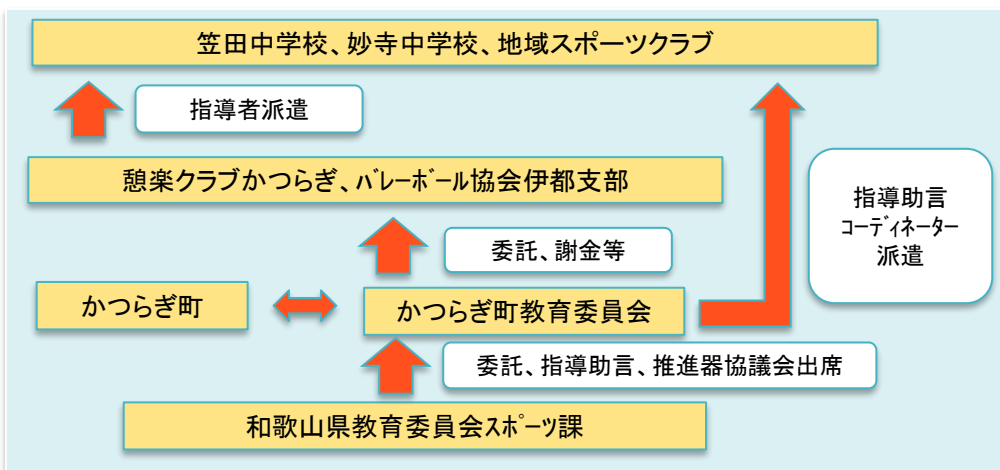
活動種目：卓球、バレーボール、陸上

会費等：一部有

保険：スポーツ安全保険（スポーツ安全協会）

### ●取組の成果、特に工夫した点等

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ運営型
- (2) 運営主体：総合型地域スポーツクラブ憩楽クラブかつらぎ
- (3) 種目：陸上
- (4) 指導者の主な属性：地域指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：12回
- (6) 主な活動場所：かつらぎ公園グラウンド、かつらぎ町立笠田中学校
- (7) 主な移動手段：自転車、保護者による送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,200円